

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2006-301258(P2006-301258A)

【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2005-122273(P2005-122273)

【国際特許分類】

G 03 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月11日(2008.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材と表面層を有する半導電性ベルトにおいて、

前記基材が、ヤング率1000～8000 MPaの樹脂からなり、前記表面層が、潤滑性成分と纖維形状の充填材料を含有してなる弾性材料からなり、前記表面層のデュロメータ硬さがA30/S～A70/Sであることを特徴とする半導電性ベルト。

【請求項2】

前記弾性材料が熱硬化性エラストマーである請求項1に記載の半導電性ベルト。

【請求項3】

前記基材がポリイミド樹脂である請求項1または2に記載の半導電性ベルト。

【請求項4】

前記表面層の厚みがベルト総厚みの60～90%であり、前記基材の厚みがベルト総厚みの10～40%である請求項1乃至3のいずれか1に記載の半導電性ベルト。

【請求項5】

前記ベルト総厚みが0.05～0.6mmである請求項4に記載の半導電性ベルト。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか1に記載の半導電性ベルトを備えてなることを特徴とする画像形成装置。

【請求項7】

前記半導電性ベルトを中間転写ベルト及び/又は用紙搬送ベルトとして備えてなる請求項6に記載の画像形成装置。

【請求項8】

下記式(1)で規定される形状係数SFが、140～100である球状トナーを用いることを特徴とする請求項6または7に記載の画像形成装置。

式(1)：

$$SF = [(トナー粒子の最大長)^2] / [(トナー粒子の投影面積) \times \pi \times 1 / 4 \times 100]$$